

# ジャケットと鋼矢板セルを組合わせた アーク矢板ジャケット工法

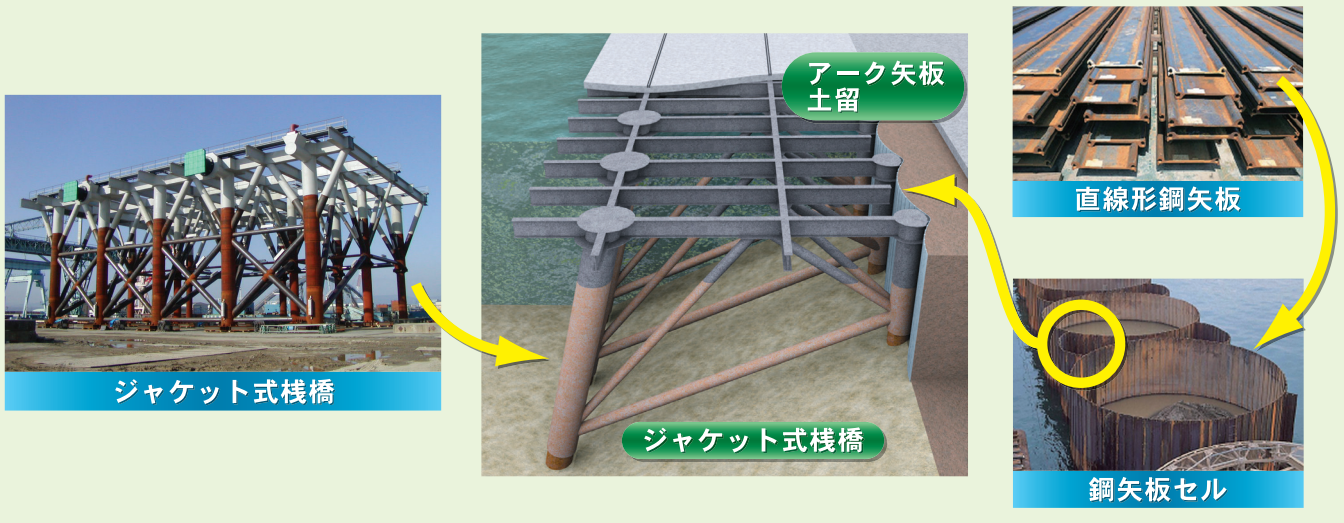


## 工法の概要

本工法は、ジャケット式栈橋にアーク矢板土留（直線形鋼矢板）を一体した合理的、かつ経済的な岸壁構造です。

## 構造の概要

**アーク矢板ジャケット工法とは** 従来工法であるジャケット式栈橋と鋼矢板セル（アーク部）の長所を組合わせた、新形式の横栈橋工法です。



**土留部の構造** 土留壁を従来工法の曲げ部材（鋼管矢板）から引張部材（アーク矢板）に変更することで、大幅な鋼重削減が可能です。

工法	従来工法 鋼管矢板土留付きジャケット工法	アーク矢板ジャケット工法
概要		
土留壁	土留壁は腹起しと地盤により支持される梁 鋼矢板や腹起しに曲げモーメントが作用	土留壁はジャケット陸側杭により線支持される膜 アーク矢板には引張力(フープテンション)が作用

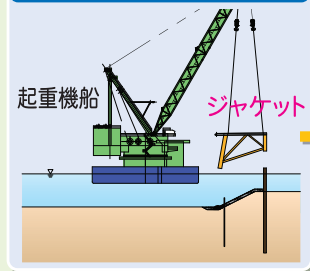
## 工法の特長

- 1 ジャケットの水平剛性が高く、杭本数の削減が可能です。
- 2 工場製作のジャケット据付やプレキャスト版の設置により、現地工程の短縮が可能です。
- 3 地盤改良が不要となり、環境汚染などのリスク低減が可能です。
- 4 ジャケットの設置後、ジャケットを作業構台としての利用が可能です。

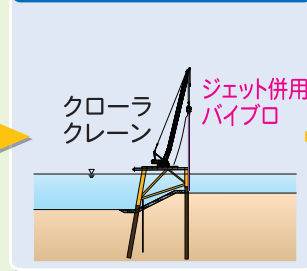
## 施工の概要

ジャケットを作業構台として利用することで、後打ち杭を栈橋から打設することが可能です。

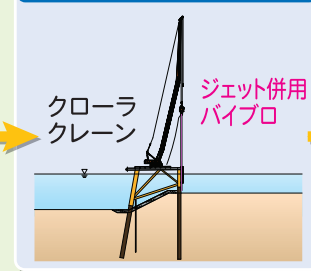
### 1 栈橋本體工 ジャケット製作・据付



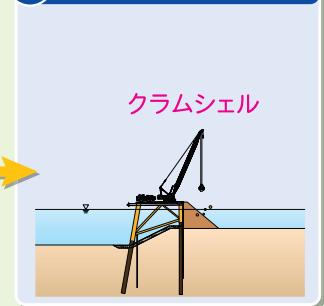
### 2 土留工 サドル部矢板打設、グラウト



### 3 土留工 アーチ部矢板打設



### 4 裏込工・埋立工



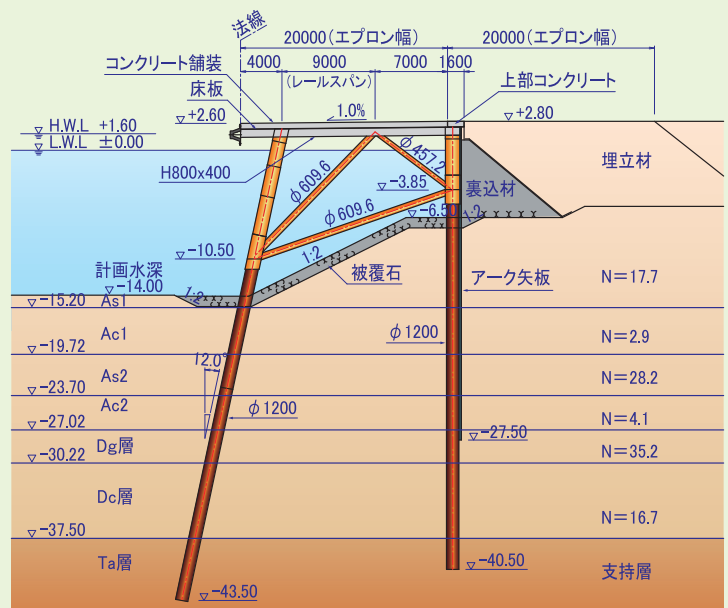
## NETIS試行工事による実績

発注者：東北地方整備局 塩釜港湾・空港  
整備事務所 殿

工事名：仙台塩釜港仙台港区中野地区岸壁  
(-14m)築造工事



延長300m



## その他

### 基本特許

名称：ジャケット構造物  
特許番号：特許第 3799939 号  
特許権者：JFEエンジニアリング(株)

### NETIS

技術名称：アーチ矢板ジャケット工法  
登録番号：CBK-070001-V  
開発者：JFEエンジニアリング(株)  
JFE技研(株)  
(独)港湾空港技術研究所



JFE エンジニアリング 株式会社  
鋼構造本部 鉄構インフラ事業部

東京都千代田区丸の内一丁目8番1号 〒100-0005  
丸の内トラストタワー N館 19F

【営業部】 TEL 03-6212-0037 FAX 03-6212-0068

【技術部】 TEL 03-6212-0021 FAX 03-6212-0067